

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あいりいず		
○保護者評価実施期間	R 7年5月7日 ～ R 7年6月5日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14 (回答者数)	10
○従業者評価実施期間	R 7年5月7日 ～ R 7年6月5日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	R 7年6月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	主たる対象者が重症心身障害児なので、ほぼマンツーマンで対応しており、細部にまで目が届く	複数のスタッフがその子に関われるようになるため、子どもにストレスがかからないように配慮し、様子を見ながらOJTなどを行っている	複数の目を見て、月に一度のミーティング時以外に随時気づきがあれば話し合うようにしている
2	活動では、個別集団を問わず、その子のペースに合わせて行っている	その日の活動内で、クリアして欲しい目標を決め、スタッフと楽しみながら行っていくが、目標を達成することが重要なのではなく、経験する、楽しむを重点に置く	何回かに分けて仕上げる製作物も、その都度達成感を味わえるように声掛けにも気を配っていく
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部との交流が少ない。	ちょっとした環境の変化にも敏感な子もいるため、慎重に計画を立てる必要がある 親御さんの中には、外部との交流の必要性を感じない方もいる	スタッフが積極的に外部との交流を図り、慣れたところで、子どもを連れて行き、短時間の交流から始める

2			
3			